

平成 29 年度認知症多職種協働研修開催要項

1 目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域での良い環境で暮らし続けることを目指し、オレンジ連携シートを活用した医療や介護および生活支援を行うサービス関係者が有機的に連携したネットワークの構築するために、本研修会を開催する。

2 根拠法令 介護保険法 第115条の45第2項第6号

3 実施主体 諫早市

4 対 象

- ・市内の介護保険指定サービス事業者や医療機関に所属する、認知症支援に携わる、介護・医療関係者（医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・作業療法士・ソーシャルワーカー・介護支援専門員・理学療法士・介護福祉士・介護職員・栄養士・歯科衛生士・社会福祉士等）
- ・市内の医療機関に勤務する職員（病・医院、薬局受付職員）
- ・市内の事務所に所属する弁護士・司法書士

5 研修日時 平成29年10月29日（日）13：30～17：00

6 場 所 ながさき看護センター4階大研修室（諫早市永昌町23番6号）

7 研修内容 別添プログラム参照

8 募集人数 250名

9 受講料 無 料

10 修了証 受講修了者には修了証を交付いたします

11 申し込み期限 平成29年 10月 10日（火）

12 その他

- ・申し込み多数の場合には、職種や職場で調整することがあります。
受講が可能な場合には御連絡いたしません。
- ・申込後、都合により当日受講ができなくなった場合には、あらかじめ必ず御連絡ください。
- ・当日は、名刺交換を致しますので御準備ください。

< 平成 29 年度多職種協働研修プログラム >

第1部 認知症の人の自己決定を支援する

研修会趣旨説明

報告「諫早市の認知症施策の取り組みについて」

講師 諫早市認知症対策推進会議座長（認知症専門嘱託医） 宮田 史朗 先生

講演「多職種と地域の連携で進める認知症高齢者の意思決定支援について」

～運転問題からサービス利用・終末期医療まで～

講師 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学教授 成本 迅 先生

第2部 認知症の人の意思決定支援の実際

「症状経過に合わせたケアの流れを円滑にするため、各時期で、誰が、何をするか」

ワークショップ「認知症の病状経過に応じた各職種の関わり」

ワールドカフェ方式にてオレンジ連携シートを使って実施

アドバイザー 成本 迅 先生

グループ進行役 認知症対策推進会議委員・認知症地域支援推進員
認知症対策推進会議委員より推薦された専門職

まとめ 認知症ケアパスにおける私たちの役割

講師 成本 迅 先生のプロフィール

精神科医、専門は老年精神医学

1995年 京都府立医科大学医学部 卒業

2001年 京都府立医科大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)

医療法人精華園、京都府立精神保健福祉総合センター、五条山病院を経て

2005年 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学助手

2009年 同講師 2015年同准教授をへて2016年より教授

(役職)

日本精神神経学会・日本老年精神医学会専門医・指導医

日本生物学的精神医学会・日本神経精神医学会・日本老年精神医学会 各評議員。日本老年行動科学会 理事。

「認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」プロジェクト代表(科学技術振興機構の研究開発プロジェクト)

(著書)

『認知症の人の医療選択と意思決定支援——本人の希望をかなえる「医療同意」を考える』クリエイツかもがわ2016

実践! 認知症の人にやさしい金融ガイド 多職種連携から高齢者への対応を学ぶクリエイツかもがわ(編著) 2017

医療従事者のための同意能力評価の進め方・考え方(監訳) 新興医学出版社 2015

(担当部署 諫早市健康福祉部高齢介護課 岩本 行)
連絡先 22-1500内線3251~2

No _____

事業所・医療機関名	
-----------	--

(出席 ・ 欠席)

平成29年度認知症多職種協働研修受講申込書

平成29年 月 日

氏名	(ふりがな)		職種	
所属	名称・部署			
	連絡先			
	電話 :		ファックス :	
研修への希望などありましたらご記入ください				

- 当日配布する受講者名簿について
本研修においては、研修後の多職種間の連携の一助とするため、受講者に、上記の氏名や所属先名称(部署)、職種を記載した受講者名簿を配布する予定です。
- 複数参加される場合には、お手数ですが申込書をコピーいただき御使用ください。